

種 目	内 容
<p>ソフトバレーボール</p>  <p>横須賀市ソフトバレーボール大会</p>	<p>ソフトバレーボールは、バレーボールから派生した球技。福井県小浜市で考え出される。ネットごしにゴム製の柔らかいボールを打ち合い、決められた点（1セット15点）を早く得点することを競う。1986年に日本バレーボール協会がソフトバレーボールの全国的な展開を決定し、生涯スポーツとして普及活動をする。</p> <p>平成23年6月に横須賀サブアリーナにて、横須賀市体育指導委員協議会・横須賀市教育委員会主催による第1回ソフトバレーボール大会が開催されました。</p> <p>コロナ禍でここ2年は中止になっていますが、協議会が主催で6月に大会、10月にスポーツフェスタの中で大会を行っています。</p>
<p>キンボール</p>  <p>神明学区の例</p>	<p>キンボールとは、1986年にカナダのマリオ・ドゥマースによって生み出され、2001年に国際大会も開催されるようになった、直径122センチメートル (cm) のボールを使用して主に室内で行われる球技である。キンボールの「キン」は英語の「キネシシス (kinesthesia)」の略で「運動感覚」といった意味であり、正式な競技名称はキンボールスポーツと言う。</p> <p>ボールを打つ前に、「オムニキン！」みんなで楽しみましょう！という意味です。毎回、大きな声でいわないといけません。</p> <p>試合は3チームで4名/チームで打つ人が、自分たちの色（ブラック）以外のピンク、またはグレーの色をコールする。コールされた色の人がボールをとる。</p>
<p>スリーアイス</p>  <p>スポーツ庁前長官を体験</p> 	<p>平成9年の「なみはな国体」「ふれ愛ビッグ大阪」を記念して、大阪市生野区スポーツ推進委員協議会が考案したスポーツです。</p> <p>10個のボールとわずかなスペースあれば、</p> <ol style="list-style-type: none"> いつでも、どこでも 幼児から高齢者まで 車イスでもできる <ul style="list-style-type: none"> 6 m離れた場所から交互に投げる 5個互いに投げるが、点数は右記 1ゲームは3または5セットマッチで得点多い方が勝ち <div data-bbox="1134 1753 1528 2029"> <p>1点 (1列完成)</p> <p>2点 (1列完成+1つのマス目に2球)</p> <p>3点 (1列完成+1つのマス目に3球)</p> <p>4点 (1列完成+2つのマス目に2球)</p> <p>5点 (1行+1列+1つのマス目に2球)</p> </div>

ドッチビー



ドッチビーとは、布製のフライングディスクの一種であり、同時にそれを用いて行う競技を指す。怪我が少なく、短時間で運動量を確保出来る種目であるため、日本の小学校での授業、レクリエーションの教材として取り入れられている。

やり方

- ・ドッチビーは大きさが4種類あるが、そのうち一般的な270のものを用いる。
- ・コート大きさは、1辺が9メートルの正方形を2つ合わせたコートを使用する。
- ・ルールは基本的に**ドッジボール**と同じであるが、2枚同時にドッチビーを使用する場合もある。
- ・ゲームの始め方はトスでコートとディスクを決定する。

バウンスボール



厚木市の例

バウンスボールは**鳥取県発祥のスポーツ**で、**年齢を問わず楽しめる生涯スポーツとして考案**されました。**必ずワンバウンドしてからうつ事**。ノーバウンドでうつと相手の得点となる。

コートとネット：コートは5メートル×12メートル(バドミントンシングルコート程度)とする。

・ネットの高さは75センチメートルとする。

ボール：・競技球 丸型直径25センチメートル 重量90グラム

チーム構成：試合は3人1組を基本として、シングル・ダブルスの対戦方式でもゲームを行う。

得点・セット及び勝敗：相手チームがサーブや返球に失敗したとき、または他の反則をしたときラリーに勝ち1点を得る。また、相手のミスによって得点となったときはサーブ権が移る。

・1セット15点で3セットマッチを行う。ただし15点先取とし延長はしない。試合は3セットマッチとし、2セット先取したチームの勝利とする。

カローリング



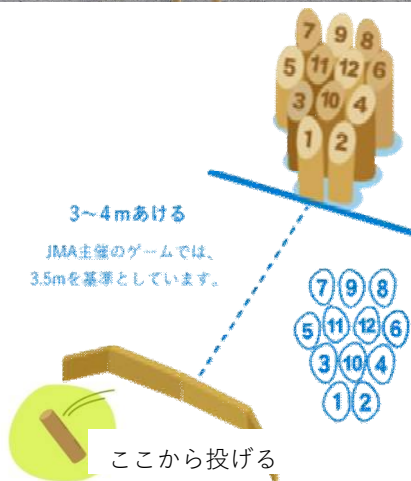
「カローリング」は、カナダや北欧の国々で親しまれている氷上のスポーツ<カーリング>から、**名古屋市にあるベアリングメーカーの方がヒントを得て平成5年6月に誕生**したインドアスポーツです。「カローリング」は、子供から高齢者まで年齢・性別・体力に関係なく気軽に競技できます。スポーツセンター、体育館、公民館、オフィスなど身近な施設のフロア（床面）を利用するため、天候に左右されません。

味方チームのジェットローラをポイントゾーンに近づけたり、相手チームのジェットローラを弾き飛ばして最後の1投で大逆転もありとてもスリリングなスポーツです！

底面に3つの車輪がついた「ジェットローラー」と呼ばれるプラスチック製の円盤をコートの先端にある直径90cmのポイントゾーンに向け、相手チームのプレイヤーとジェットローラーを交互に走行してぶつけ合い、得点を競うゲームです。

モルック

市には用具はありません
持っている学区はあります



出典：日本モルック協会

テレビでも見かけるようになったモルックは、**フィンランド発祥のスポーツ**。

スポーツといっても、モルックと呼ばれる木製の棒を投げて、スキttlと呼ばれるピンを倒し点数を競うというシンプルなスポーツなので、**大人も子どもも一緒にモルックを楽しめます**。

やり方ルール

①モルックを投げる位置にモルッカーリを設置し、そこから3~4m離れたところにスキttlを並べます。投げる際、モルッカーリに触れたり、踏み越えたりした場合、ファウルとなり0点で、次のチームに交代となります。

②2チーム以上で対戦するので投げる順番を決め、順番にモルックを投げ、スキttlを倒します。

③スキttlは、倒れた場所で再び立て直します。ゲームが進むにつれ、スキttlが広がり、狙うのが難しくなります。いずれかのチームが**50点を先取した時点でゲーム終了**となります。

※モルックは得点の数え方が特徴的です。

スキttlが複数本（2本以上）倒れた場合

倒れた本数がそのまま得点になります。スキttlが5本倒れた場合は、5点が得点になります。

スキttlが1本のみ倒れた場合

スキttlが1本のみ倒れた場合は、倒れたスキttlに表示されている数字が得点になります。倒れたスキttlに表示されている数字が12だった場合、12点が得点になります。

スキttlが完全に倒れていない場合

スキttl同士が重なるなどして完全に倒れていないスキttlは点数に反映されません。

51点以上になった場合は25点からやり直しです。

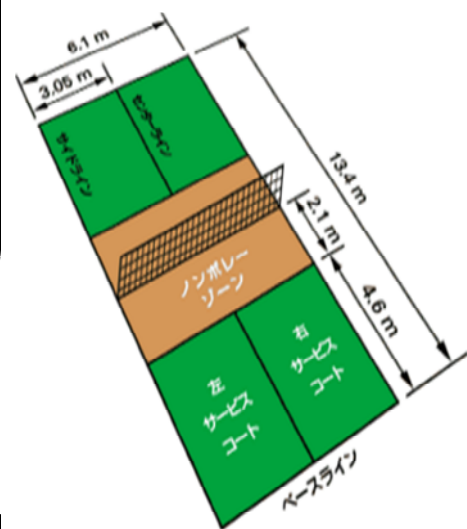
3回連続して倒せないでゲームは負けとなる。

ピックルボール

市には用具はありません

もっと知りたい方は、

<https://sukataishi.jp/update/docs/20221020102125.pdf>



ピックルボール（Pickleball）は、コートにおいて、プラスチック製で中空のボールに多数の穴があいたものを、木製などの固いパドル（ラケット）で打ち合う競技あるいはスポーツ。卓球・テニス・バドミントンを元に考えられた競技で、ルールや戦略などはテニスに準ずる。ボールの多数の穴によって空気抵抗が増し、ボールの速度が比較的低いので、年配者や子供でもプレーでき、幅広い世代の人々が楽しめるのが特徴。

何よりプレーヤー同士の交流や身体を動かしていることを楽しむことが主眼のスポーツで、レクリエーション的な性格を持つ。

歴史的には、1965年アメリカのバインブリッジ島の とある家庭で、退屈した子どもが親に「何か楽しい遊びはないの？」と求めたところ、父親がその子どものために、家族で楽しめるゲームとして考案し、道具を自作し、次第に普及してゆくことになった。ピックルの名前は飼った犬の名前に由来する。

主にアメリカで普及しており、愛好者は40万人を超え、プロピックルボール協会のツアー大会など、賞金付き大会も開催されている。特にミックス・ダブルス（=男・女のカップルで行うダブルス）の人気は高い。

日本においても中高齢の人でも楽しめる「生涯スポーツ」として自治体などの主導で普及が図られている。R4年度、藤沢市・大和市・横須賀市の交流会で紹介された。また、横須賀市のスポーツフェスタ2022でも西体育会館で紹介され、体験された方もある。今注目のスポーツでもある。

